

平成 28 年（2016 年）台風 10 号等に伴う豪雨による北海道地方被災橋梁等調査報告

1. 調査概要

北海道では、平成28年8月17日から23日の1週間において、3つの台風が上陸し、道東を中心に河川の氾濫や土砂災害などが発生した。また、8月29日からの前線に伴う降雨、その後の台風10号の接近により、各地で記録的な大雨となった。道路についても各地で被災し、寸断されたことから、橋梁の洗掘等の被害状況を調査するため、平成28年8月24日、8月31日、9月1日に現地調査を行った。

現地調査の体制を以下に示す。

平成28年8月24日 調査メンバー

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 構造・基礎研究室

主任研究官 西田 秀明

道路構造物研究部 構造・基礎研究室

研究官 西藤 淳

国立研究開発法人 土木研究所

寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ 寒地構造チーム

上席研究員 西 弘明

平成28年8月31日、9月1日 調査メンバー

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 構造・基礎研究室

主任研究官 西田 秀明

道路構造物研究部 構造・基礎研究室

研究官 西藤 淳

国立研究開発法人 土木研究所

寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ 寒地構造チーム

上席研究員 西 弘明

寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ 寒地構造チーム

主任研究員 佐藤 孝司

寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒地河川チーム

主任研究員 井上 卓也

※現地調査時の組織名・役職を記載

調査箇所を図-1.1に、調査対象橋梁一覧を表-1.1に示す。

通行止め期間は応急橋架設による通行止め解除までの期間を示している。

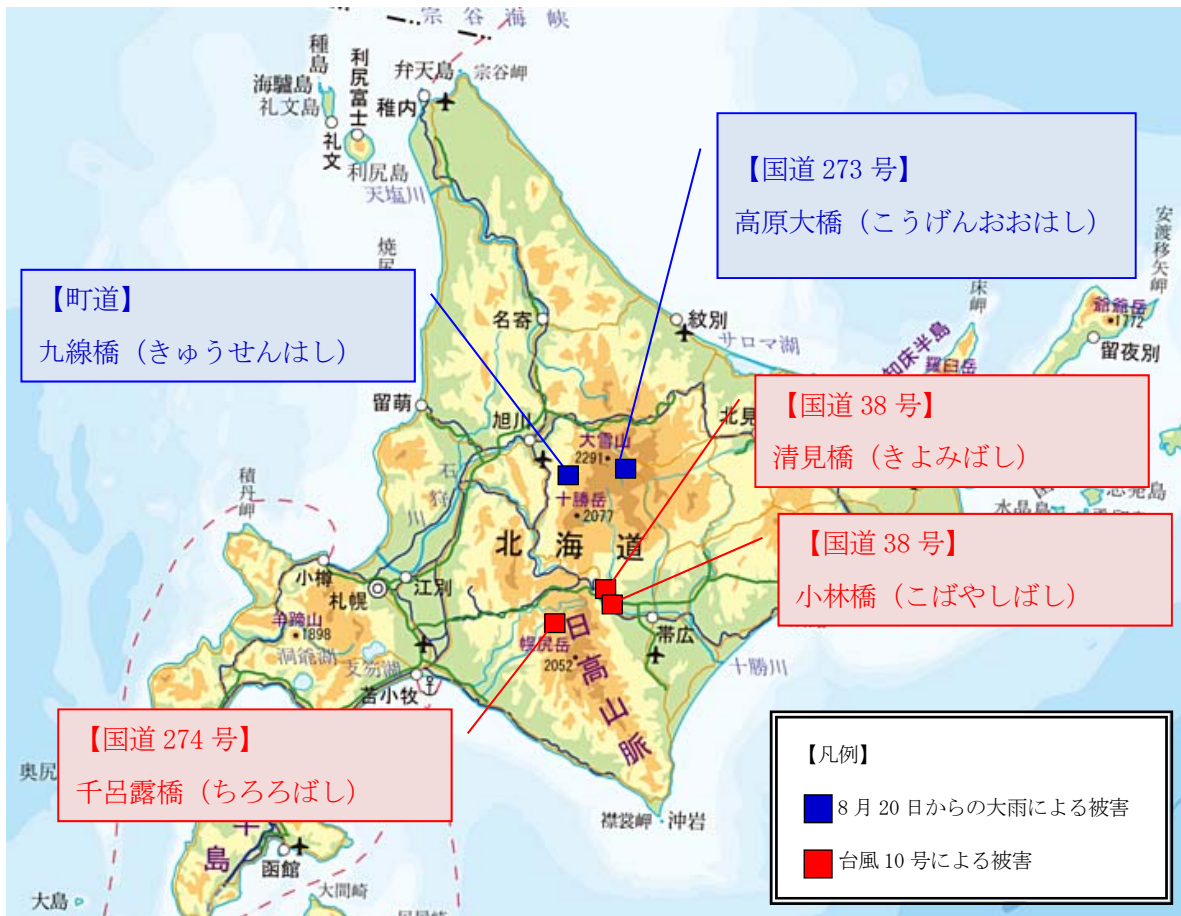


図-1.1 位置図 (電子国土WEB を加工して作成)

表-1.1 調査対象橋梁一覧

橋梁名	橋長 (m)	構造形式	主な損傷状況	管理者	通行止め期間
高原大橋	124.5	単純鋼合成 I 桁橋 逆 T 式橋台 T 型橋脚円柱型 (RC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A2 橋台背面土の流失 ・ A2 橋台背面路肩の流失 ・ P2 橋脚の傾斜沈下 	北海道開発局	8 月 20 日 (土) 17:00～ 9 月 30 日 (金) 14:00
九線橋	58.7	単純ポステン T 桁橋 逆 T 式橋台 小判型橋脚 (RC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A1 橋台の傾斜沈下 ・ A1 橋台背面土の流失 	美瑛町	8 月 23 日 (火) ～ 11 月 7 日 (月)
千呂露橋	83.8	単純ポステン T 桁橋 重力式橋台 T 型橋脚柱小判型 (RC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A1 橋台の傾斜沈下 ・ A1 橋台背面土の流失 	北海道開発局	8 月 30 日 (火) 11:15～ 9 月 13 日 (火) 13:00
小林橋	37.6	単純プレテン床版 逆 T 式橋台 壁式橋脚 (RC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A1 橋台の傾斜沈下 ・ A1 橋台背面土の流失 	北海道開発局	8 月 30 日 (火) 23:00～ 10 月 14 日 (金) 9:00
清見橋	37.6	単純プレテン床版 逆 T 式橋台 壁式橋脚 (RC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A1 橋台背面土の流失 	北海道開発局	8 月 30 日 (火) 23:00～ 10 月 14 日 (金) 9:00